



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者CFO (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,752	25.9	215	△26.7	225	△24.9	73	△57.8
30年3月期第1四半期	6,159	△21.0	293	△62.1	300	△61.9	174	△67.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 82百万円(△52.1%) 30年3月期第1四半期 171百万円(△67.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	6.21	5.87
30年3月期第1四半期	14.45	13.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	16,310	11,031	67.1
30年3月期	16,694	12,117	72.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 10,951百万円 30年3月期 12,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成31年3月期の期末配当金は未定であります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) CatalyST 1号投資事業、除外 1社(社名) 株式会社MimiTV
 有限責任組合
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	12,936,100株	30年3月期	12,931,100株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,376,110株	30年3月期	852,565株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	11,840,335株	30年3月期1Q	12,064,386株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「インターネットの時代を動かす凄い100人を創る」ことをミッションに掲げ、平成30年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粹持株会社となりグループ経営への移行を決定しております。これに伴い、SHOPLIST事業も会社分割し、クルーズ株式会社は事業を持たない純粹持株会社としてグループ運営の最適化への環境を整えてまいります。また、ミッションの実現に向け、次世代の事業の誕生と成長、次世代の経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を構築しております。

同時に、将来的に株主・投資家、顧客、社員、社会その他すべてのステークホルダーに大きな価値を還元するべく、グループの軸事業であるファストファッション通販『SHOPLIST.com by CROOZ』（以下、SHOPLIST）の売上最大化、第二・第三の事業の柱創出の早期実現のため、当面はグループで生み出す利益の全てを、既存事業のプロモーション費用やM&Aによる買収資金、新規事業へ総投資する方針を打ち出しております。

グループの軸事業であるEC事業の国内BtoCのEC（消費者向け電子商取引）市場は平成29年に16.5兆円に達しており（注1）、また今後更に拡大し、平成33年度には25.6兆円に達する見込みといわれております（注2）。

また、その中でもSHOPLISTのおかれるアパレルEC（BtoC）市場は、平成29年に1.6兆円に到達し、直近4年間で約4,820億円拡大してきました。この成長規模とスピードは平成24年より国内で開始されたフリマアプリ（CtoC）の推定市場規模が5年をかけて到達した4,835億円に匹敵するものであります（注3）。

当該成長市場においてSHOPLISTは、平均商品単価約1,800円という低価格で良質なファストファッション商材の取扱いに特化し、また会員属性もその9割以上が10-20代を中心とした女性という特異なポジショニングを確立し、平成24年7月の立ち上げから6年目を迎えた前連結会計年度の売上高は214億円を超え、拡大を継続しております。

当事業においては、今後の更なる拡大を目指し、新規ユーザー獲得を狙った大規模プロモーションはもちろん、探しやすさや購入前と後のギャップをゼロにするべくサイトのユーザビリティ向上、配送日数改善などの物流インフラの強化を通じたりピート率向上に注力してまいります。

これらの取組みが徐々に実を結び始めた結果として、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,752,706千円（前年同四半期比25.9%増）、営業利益215,322千円（前年同四半期比26.7%減）、経常利益225,905千円（前年同四半期比24.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益73,485千円（前年同四半期比57.8%減）となりました。

（注1）平成30年4月25日経済産業省「平成29年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」を基に記載しております。

（注2）株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報を基に記載しております。

（注3）平成30年4月25日経済産業省「平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」を基に記載しております。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

①SHOPLIST事業

売上高は6,343,637千円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント利益は198,286千円（前年同四半期比24.2%減）となりました。

②インターネットコンテンツ事業

売上高は648,271千円（前年同四半期比20.7%減）、セグメント利益は208,377千円（前年同四半期比29.9%増）となりました。

③その他事業

売上高は760,798千円（前年同四半期比687.2%増）、セグメント損失は191,341千円（前年同四半期はセグメント損失128,451千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、投資その他の資産の増加708,658千円があった一方で、現金及び預金の減少1,210,022千円などにより、16,310,385千円（前連結会計年度末比383,916千円の減少）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、未払金の減少126,373千円があった一方で、買掛金の増加687,946千円及び短期借入金の増加70,087千円などにより、5,278,435千円（前連結会計年度末比701,770千円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、自己株式の取得1,132,157千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上73,485千円などにより、11,031,950千円（前連結会計年度末比1,085,686千円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

SHOPLIST事業の取扱高成長に向けた積極的なプロモーション活動、第二・第三の柱を創出するための新規事業への投資など、グループの売上最大化のために事業資金を投下するため、当面はグループで生み出す利益の全てを売上最大化に投資し、結果的に中長期的な企業価値向上の実現に努めてまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせます。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,159,712	8,949,690
売掛金	2,311,755	2,730,097
その他	1,140,027	923,772
流動資産合計	13,611,494	12,603,560
固定資産		
有形固定資産	471,329	455,142
無形固定資産		
ソフトウェア	105,186	95,182
のれん	1,119,071	1,057,160
その他	4,365	7,826
無形固定資産合計	1,228,622	1,160,169
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,471,764	2,180,422
貸倒引当金	△88,909	△88,909
投資その他の資産合計	1,382,854	2,091,513
固定資産合計	3,082,806	3,706,824
資産合計	16,694,301	16,310,385
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,345,233	3,033,179
短期借入金	660,000	730,087
未払金	1,076,819	950,445
未払法人税等	93,484	96,541
ポイント引当金	87,302	110,522
その他	196,325	247,658
流動負債合計	4,459,164	5,168,435
固定負債		
長期借入金	117,500	110,000
固定負債合計	117,500	110,000
負債合計	4,576,664	5,278,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,248	454,553
資本剰余金	1,387,497	1,357,747
利益剰余金	10,700,243	10,756,293
自己株式	△507,483	△1,639,640
株主資本合計	12,033,506	10,928,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,386	18,216
為替換算調整勘定	3,173	3,944
その他の包括利益累計額合計	26,559	22,161
新株予約権	17,772	16,992
非支配株主持分	39,799	63,843
純資産合計	12,117,637	11,031,950
負債純資産合計	16,694,301	16,310,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,159,711	7,752,706
売上原価	4,512,926	5,665,891
売上総利益	1,646,784	2,086,815
販売費及び一般管理費	1,353,179	1,871,492
営業利益	293,604	215,322
営業外収益		
持分法による投資利益	7,743	—
為替差益	1,605	19,162
その他	1,282	4,115
営業外収益合計	10,631	23,278
営業外費用		
自己株式取得費用	—	6,755
投資事業組合運用損	1,867	3,600
持分法による投資損失	—	455
その他	1,373	1,883
営業外費用合計	3,241	12,695
経常利益	300,995	225,905
特別利益		
新株予約権戻入益	420	420
特別利益合計	420	420
特別損失		
関係会社株式売却損	—	29,731
固定資産除却損	345	432
減損損失	24,582	—
その他	—	400
特別損失合計	24,928	30,564
税金等調整前四半期純利益	276,486	195,761
法人税、住民税及び事業税	91,408	133,372
法人税等調整額	13,275	△27,519
法人税等合計	104,683	105,853
四半期純利益	171,803	89,908
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,488	16,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,291	73,485

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	171,803	89,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	△7,105
為替換算調整勘定	△43	△592
その他の包括利益合計	△194	△7,697
四半期包括利益	171,608	82,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,096	65,787
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,488	16,423

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式517,200株の取得を行っております。また、平成30年6月18日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式6,300株の取得を行っております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が1,132,157千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,639,640千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年8月10日の取締役会において、無担保社債を発行することを決議しました。

その内容は次のとおりです。

(1) 銘柄

クルーズ株式会社第1回無担保社債(適格期間投資家限定)

(2) 発行価格

額面100円につき金100円

(3) 発行総額

10,000,000千円

(4) 利率

0.150%(予定)

(5) 償還方法

定時償還(据置期間5年)

(6) 償還期限

平成40年8月31日(予定)

(7) 発行の時期

平成30年8月31日(予定)

(8) 資金の用途

運転資金及び今後の事業拡大に向けた積極的な諸施策実施